

| 科目名： 教育心理学（ 演習1単位 ） | | 担当教員名： 松本恵美 | 使用テキスト：出版社名・テキスト名 特になし |
|--|-------------------------------|---|---------------------------|
| 授業の到達目標及びテーマ： 効果的な教育を実践する上で必要な、心理学の知識を獲得することと、子どもに対する適切な教育的対応を理解できるようになることを目指す。 | | | |
| 授業の概要： 幼児期～児童期・青年期の子どもにとって、幼稚園や学校は生活の大半を占める重要な場所である。本講義では、幼稚園・学校をはじめとする教育現場に関わる様々な心理学的な現象について学ぶこととする。子どもたちが「学ぶこと」を楽しめるような教育を実現するには、何が必要であるのかを考えていく。 | | | |
| 回 | 項 目 | 内 容 | |
| 1 | オリエンテーション | 教育心理学に関する基本的理解を図るとともに、講義全体の内容を通観し、受講生の課題意識を深める。また、授業の進め方についての共通理解を図る。 | |
| 2 | 発達課題と教育 | 発達の傾向と発達段階、その課題について解説する。また、発達の要因である遺伝と環境についての理解を深める。 | |
| 3 | 学習の原理： 行動主義心理学からとらえた学習 | 行動主義心理学からとらえた学習の定義およびその理論について概説する。また、それに基づいた教育実践について学ぶ。 | |
| 4 | 学習の原理： 認知心理学からとらえた学習 | 認知心理学からとらえた学習の定義およびその理論について概説する。また、それに基づいた教育実践について学ぶ。 | |
| 5 | 学習の心理と教育：意欲と動機付け | 特に自己決定理論を中心として、動機づけに関する基本的な理解を深める。 | |
| 6 | 学習の心理と教育：賞罰の効果 | 学習意欲を向上させる、もしくは低下させる要因について解説する。また、学習性無力感についても学ぶ。 | |
| 7 | 子どもの記憶と教育 | 記憶の分類、記憶の発達、記憶の方略、忘却に関する説明を行う。 | |
| 8 | 知能と学力 | 知能の定義およびその理論について概説する。また知能の測定方法や学力との関連についても学ぶ。 | |
| 9 | 子どものパーソナリティと教育 | パーソナリティの定義、パーソナリティに関する代表的な理論を解説する。また、パーソナリティの測定についても理解を深める。 | |
| 10 | 仲間関係と教育 | 仲間関係の発達や、学級集団の基本的な特徴について理解を深める。 | |
| 11 | 先生との関係と教育 | 教師が子どもに与える影響やリーダーシップについて解説する。 | |
| 12 | 諸問題に対するアプローチ：不登校・いじめ・暴力行為 | 登園しぶり、不登校、いじめといった、幼稚園や学校で直面する様々な問題に関する理解を深める。 | |
| 13 | 諸問題に対するアプローチ：発達障害を持つ子どもの理解と対応 | 発達障害、ここでは特に自閉スペクトラム症、ADHD についての正しい理解を深めるとともに、支援方法についても考察する | |
| 14 | 学習理論に基づいた子どもの行動の理解 | 主に応用行動分析に依拠しながら、発達障害をはじめとする、気になる子どもや問題行動の多い子どもの行動について、三項随伴性の原理・行動の原理から考える視点を習得する。 | |
| 15 | 学習理論に基づいた子どもへの対応 | 主に応用行動分析に依拠しながら、発達障害をはじめとする、気になる子どもや問題行動の多い子どもへの関わり方について理解を深める。 | |
| 参考書・参考資料等： 本郷一夫・八木成和（2008）『教育心理学』建帛社 その他各授業の学習テーマに応じて提示する。 | | | |
| 学生に対する評価方法： 受講態度 10%、授業中の課題やリアクションペーパーへの取り組み 30%、試験 60% | | | |